

## 2014年 事業案内

TOKACHI NOKYOREN  
BUSINESS GUIDE 2014



十勝農業協同組合連合会  
〒080-0013 帯広市西3条南7丁目14番地  
ホームページアドレス <http://www.nokyoren.or.jp/>

## 十勝農業の概要

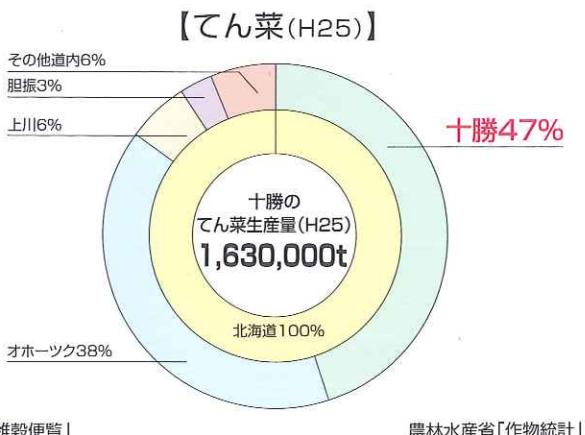
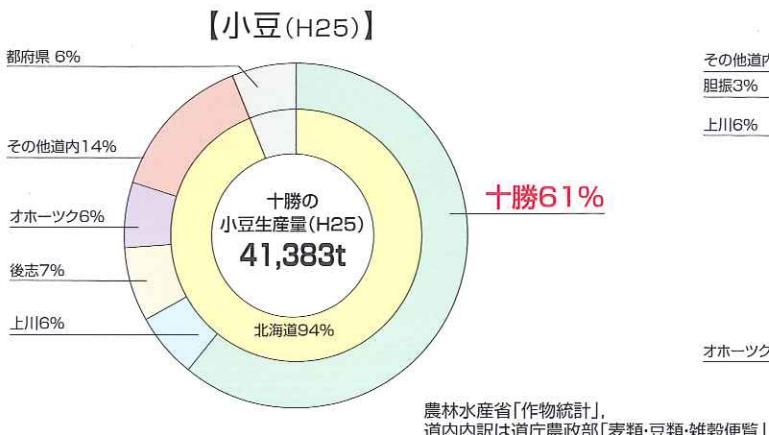
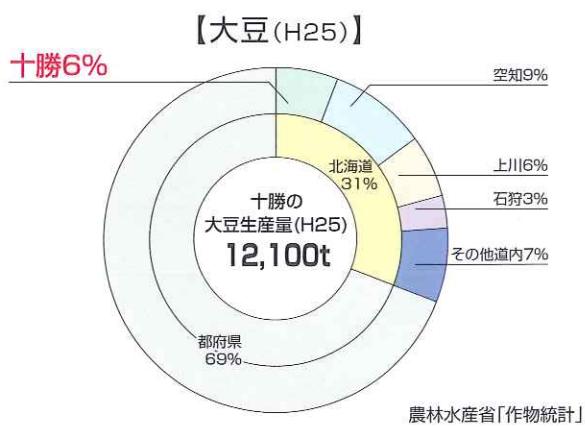
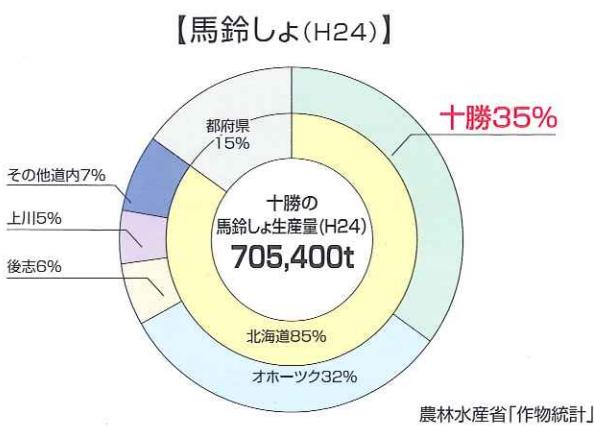
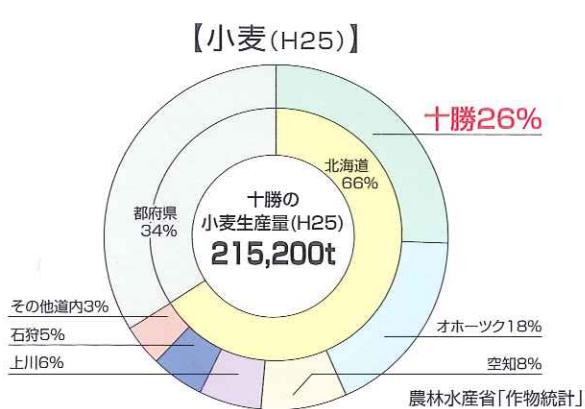
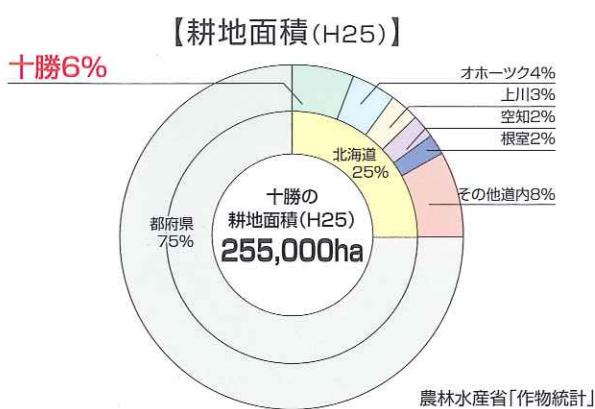
十勝の農業は開拓以来、寒冷な厳しい気象条件にありながらも近代技術の導入や排水改良などの土地基盤整備を進め、今日では我が国の食料供給を担う重要な役割を果たしています。

1経営体当たりの経営耕地面積は38.3haと全国平均の約24倍の規模で、恵まれた土地資源を活かし、大規模で機械化された生産性の高い農業を展開しています。

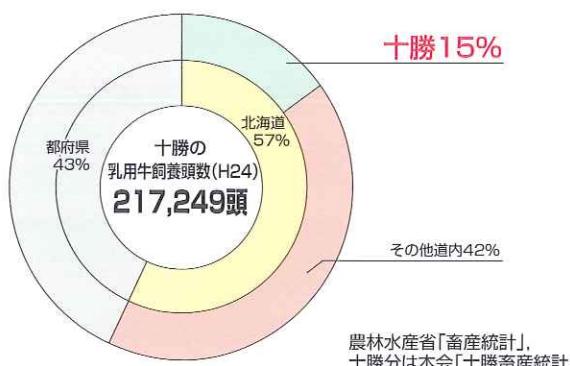
畑作は、麦類、豆類、馬鈴しょ、てん菜の4品目を主体とした輪作体系が確立され、多くの品目で全道一の生産量を誇り、野菜は、長いもやだいこんなどの根菜類をはじめ、スイートコーンや葉物など多種多様な品目が生産されています。特に主要品目である長いもを筆頭に、えだ豆、ゆり根などが海外へも輸出されています。

また、酪農は乳牛飼養農家1戸あたりの飼養頭数が約145頭と大規模化が進み、EU諸国の水準に匹敵する規模となっています。

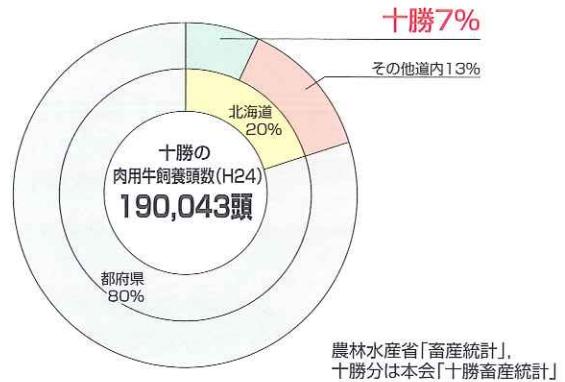
### 【グラフで見る十勝の農業】



### 【乳用牛(H24)】



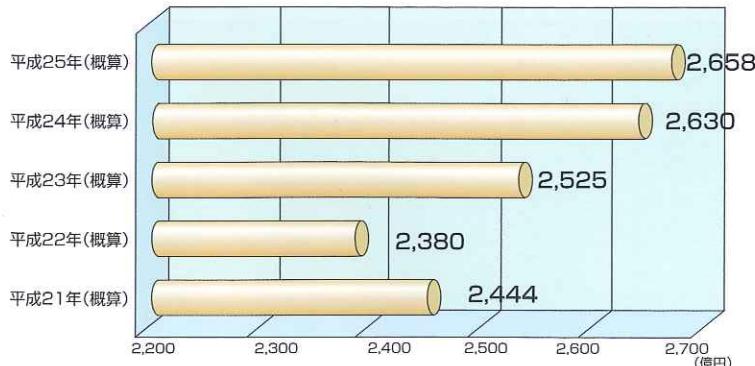
### 【肉用牛(H24)】



### 【生乳生産量(H24)】

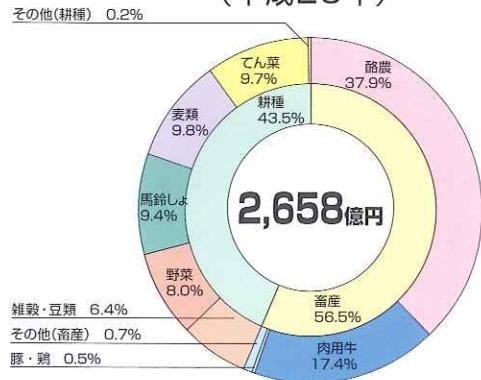


### 【十勝管内農協取扱高の推移】



資料：十勝地区農業協同組合長会  
十勝総合振興局産業振興部  
十勝農業協同組合連合会 調べ

### 【十勝管内農協取扱高の作物別構成比】 (平成25年)



資料：十勝地区農業協同組合長会  
十勝総合振興局産業振興部  
十勝農業協同組合連合会 調べ

### 【ご挨拶】



代表理事長

**山本 勝博**

本会は十勝地区の24農協(正組合員戸数6,319戸:平成24年度)を会員とする地区連合会であり、関係機関との連携のもと、会員農協・組合員をサポートする事業を行っています。設立以来、生産に関わる指導業務が事業の柱ですが、近年においては食の安全・安心を担保するシステムの一翼を担うほか、十勝産農畜産物のブランド化・高付加価値化の推進、十勝農業のファンづくりに取り組んでいます。

農産部では、畑作物を主体とする種苗事業、新たな生産技術の検討と普及、生産履歴記帳や十勝型GAPの推進、土壌・飼料・残留農薬分析事業などのほか、日本で唯一の根粒菌製造・普及事業を行っており、また有用微生物資材の開発普及にも取り組んでいます。

畜産部では、飼養管理技術の向上と良質自給飼料の生産対策、家畜登録業務、共進会・共励会の開催、十勝和牛ブランドの確立支援、十勝酪農畜産物生産履歴・乳温監視システムの運用、高品質生乳生産対策、乳成分分析事業などのほか、十勝化成

工場と湧洞牧場を運営しています。

電算事業部では、十勝地域農業情報システムの運営により、会員の経営管理業務の効率化と営農指導機能の高度化を図るとともに、組合員向けに有用な営農情報を提供しています。

企画室では、十勝農業の諸課題に関する調査研究、人材の育成、地域農業支援システムの強化対策などのほか、十勝の魅力を発信するフォトコンテストを実施しています。

十勝では、25万haの耕地に畑作と畜産が両立し、生産性の高い大規模な農業が展開されています。長年に亘り築き上げてきた生産基盤と恵まれた環境・資源を活かし、生産性と品質の向上を図りながら、2016年の農業生産額目標2,900億円の達成に向けて、関係者一丸となって取り組んでいるところです。

TPP参加問題をはじめ農業をめぐる情勢は課題山積ですが、本会の事業運営並びに十勝の農業に対しまして、皆様のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 十勝農業協同組合連合会の経営理念

#### 【組織使命】

- 1) 本会は、会員が協同してその事業の振興を図り、もってその組合員の農業の振興、経済状態の改善および社会的地位の向上に寄与することを目的とします。
- 2) 本会は、公正な職場と健全な取引関係を築きあげ、仕事を通じて地域社会に貢献していきます。
- 3) 事業は公正であることを基本とし、地域社会を豊かにすることを使命とします。

#### 【経営姿勢】

- 1) 事業は「公正」、「誠実」を旨とします。
- 2) 全ての物事の判断基準は「会員・組合員」・「利用者」の立場を起点とします。
- 3) 「他者への配慮」の姿勢を持って、事業を運営します。
- 4) 地域と共生する組織として、「社会的責任」を念頭に事業を運営します。

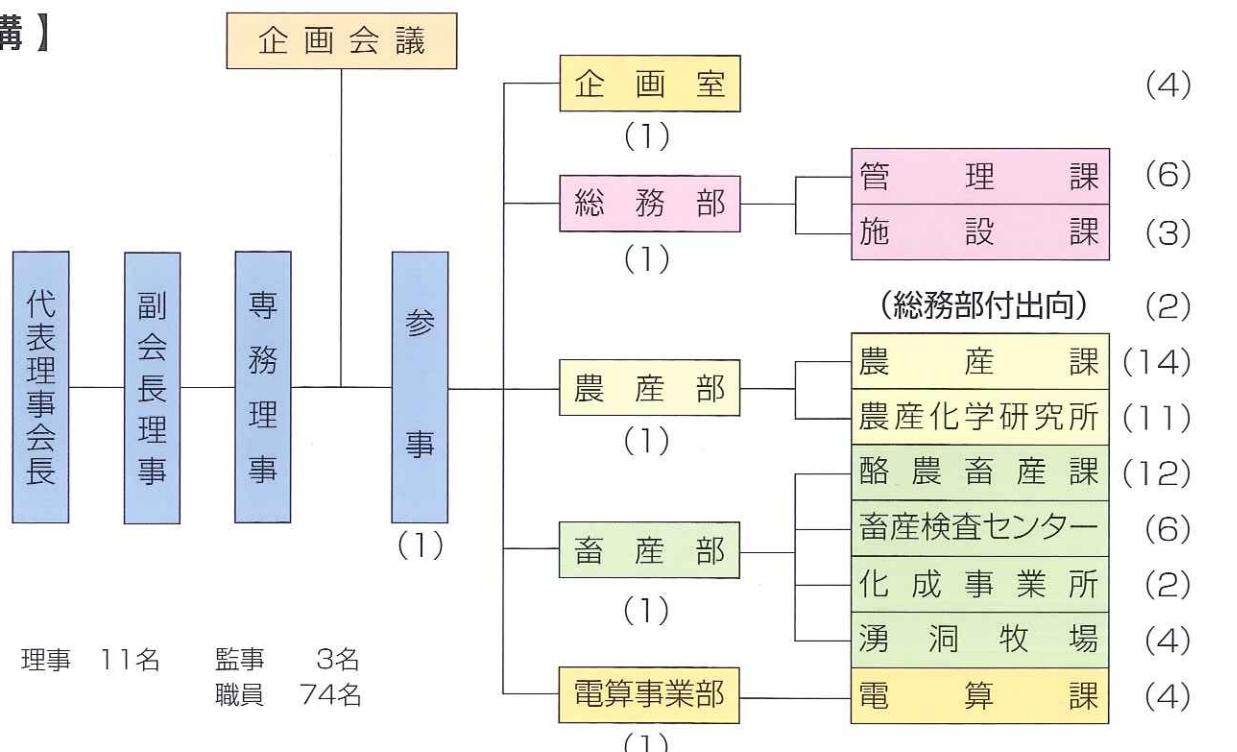
#### 【行動規範】

- 1) 常に「感謝の心」を忘れずに行動します。
- 2) 時代の変化に対し、「チャレンジ精神」で望みます。
- 3) 仕事の「プロフェッショナル」を目指します。
- 4) 「順法精神」に則り行動します。

## 【沿革】

昭和22年	農協法公布・施行	昭和57年	土壤・飼料分析事業開始
昭和23年	十勝管内29総合農協と1畜産農協を会員とし設立 (北海道農業会十勝支部・十勝馬匹組合資産継承)	昭和59年	病畜処理事業開始 組織培養事業開始
昭和24年	耕土改良事業開始 第1回十勝家畜共進会開催	昭和60年	酪農経営情報システム事業開始
昭和26年	馬鈴しょ採種事業開始	昭和61年	十勝地域農業情報システム事業開始
昭和27年	家畜人工授精事業開始	昭和62年	研究農場開設
昭和28年	根粒菌事業開始	昭和63年	小麦種子消毒事業開始
昭和36年	車両整備事業開始	平成2年	馬の資料館開館
昭和40年	外国鶏生産販売開始	平成3年	豆類原々種生産事業開始 生菌検査事業開始
昭和42年	種馬種付・育成事業開始	平成4年	組合員情報ネットワーク事業開始
昭和44年	農協連ビル(現事務所)新築	平成6年	十勝化成工場落成・運営開始
昭和45年	根粒菌特許権取得	平成7年	牧草種子コーティング事業開始
	豆類種子センター新設	平成8年	病害虫検診事業開始
昭和48年	ホルスタイン雌牛育成預託事業開始	平成10年	全天候型共進会場(アグリアリーナ)新築
昭和49年	根粒菌ノーキュライド加工開始	平成12年	根粒菌リゾビウム加工開始
	帯広競馬場スタンド新築	平成15年	残留農葉自主検査事業開始 死亡畜専用処理工場運用開始
昭和51年	十勝農業広域電算事業開始 十勝レンダリングプラント操業開始	平成16年	フィールドアドバイザー広域活用モデル事業開始
	海外農業研修視察事業開始	平成17年	農産物生産履歴システム運用開始
昭和52年	十勝農業賞制定	平成19年	営農支援システム「てん蔵」運用開始
昭和56年	生乳分析事業開始	平成20年	十勝酪農畜産物生産履歴システム運用開始 乳温遠隔監視記録システム運用開始

## 【機構】



### 【農産部】

#### ■高品質・高収量・高収益への取り組み

十勝地域生産者対面型施肥設計システムを活用し、土壤診断に基づいた適正な施肥設計と肥料・農薬コスト低減のための技術支援を行っています。また、畑作物の生産実態を調査し、地域に適した栽培技術を確立するとともに、高収量・高収益事例の要因解析を行い会員農協に情報提供しています。

#### ■安全・安心な農産物生産体制の構築

JAネットワーク十勝農技協と連携して十勝型GAP(農業生産工程管理)の普及拡大を図るとともに、GAP認証制度の確立に取り組んでいます。また、生産履歴データを活用した畑作農家の肥料・農薬使用実態調査を行い、生産履歴データの有効活用に取り組んでいます。

#### ■持続可能な生産基盤の構築

病害虫発生情報を会員農協に提供するとともに、発生要因の解析および防除対策を検討しています。また、地力増進と土壤病害虫の低減を図るため、対抗性綠肥作物を普及しています。

##### ～提供している病害虫発生情報～

- ・馬鈴しょアブラムシ発生情報・大豆アブラムシ発生情報・ながいもアブラムシ発生情報
- ・馬鈴しょ疫病防除開始目安・大豆ア布拉ムシ防除適期目安

#### ■畑作物種子の安定供給対策

畑作物種子の安定供給を図るため、原採種圃面積の維持、拡大ならびに農協間受委託生産を進めています。また、圃場管理の現地指導を行うとともに、技術研修会などを開催しています。

ジャガイモシストセンチュウまん延防止対策、ウイルスや細菌による種子伝染性病害の検定ならびに豆類・麦類種子発芽検定を実施し、種子の病害虫防除対策や品質維持に努めています。

主要畑作物種子取扱数量(平成25年度)

作物名	配付数量(t)
馬鈴しょ	24,634
豆類	1,473
秋播小麦	4,545



シードセンター

#### ■豆類および麦類種子の調整・加工

原採種圃産豆類および麦類種子の調整ならびに加工(豆類は根粒菌接種、麦類は種子消毒)を行い、配付しています。

また、災害に備え年間135tの豆類種子を備蓄しています。

#### ■根粒菌などの有用微生物資材の開発・製造・普及

マメ科作物の根に共生し空気中の窒素を固定する根粒菌資材を開発・製造・普及するとともに、てん菜・馬鈴しょや小麦に有効な窒素固定微生物資材、飼料作物や野菜の生育を促進するアズスピリラム菌資材の開発に取り組んでいます。



根粒菌まめぞう



アゾスピリラム菌資材ネフェール

## ■分析事業

土壤、飼料、作物体や堆肥の分析を行っています。また、安全・安心な農産物生産を支援するために、農産物の残留農薬自主検査や病害虫検診を行っています。

農産物の機能性を科学的に評価する手法確立に取り組み、十勝産農産物の機能性などを評価して広く情報発信しながらブランド化を進めています。



土壤・飼料分析



農産化学研究所

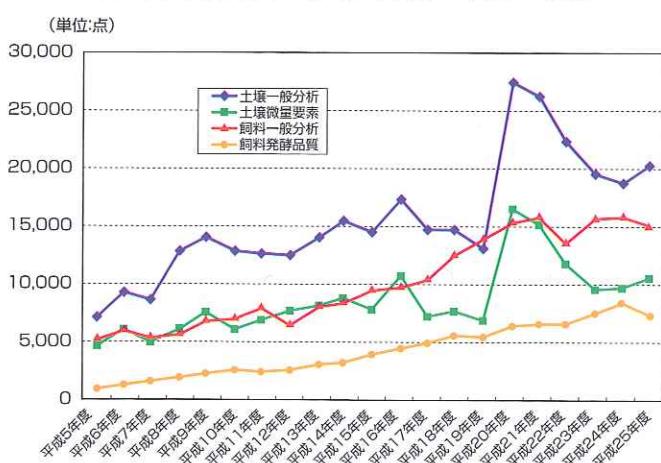


残留農薬自主検査



線虫の検診

### 土壤・飼料分析点数(平成25年度)



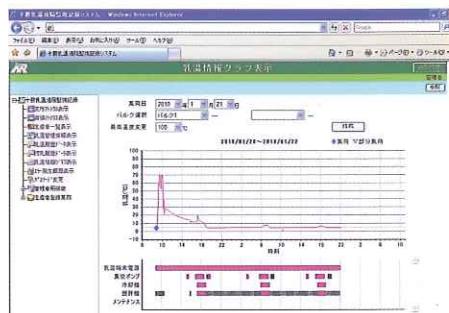
(単位:点)

土壤分析		飼料分析				その他分析		
一般分析 20,297	微量要素 10,582	一般分析 15,115	発酵品質 7,326	硝酸態窒素 1,949	蛋白分画 2,960	微量ミネラル 1,572	堆肥 2,333	作物体 922

### 【畜産部】

#### ■十勝酪農畜産物安全・衛生対策の取り組み

「十勝酪農畜産物生産履歴システム」により、牛の出生から出荷までの飼料給与情報や治療情報などを管理しています。特に安全性が求められる生乳の管理では、貯乳中の乳温をリアルタイムに集中監視する「乳温遠隔監視記録システム」を構築し、十勝型「食の安全確保体制」の確立に取り組んでいます。



乳温遠隔監視記録システム

#### ■良質自給飼料生産の取り組み

大学や畜産試験場などの協力を得て「飼料アップとかち運動」を推進しています。栄養収量向上のため、十勝型の草地更新手法や播種設計の確立に取り組んでいます。また、飼料用とうもろこしの病害発生実態を調査し、発生要因の解析と予防対策に取り組んでいます。



草づくり現地研修会の風景

#### ■酪農・畜産物生産技術対策の取り組み

飼料設計や飼養管理改善などの現地支援を行い、生乳生産性の最大化と牛供用年数の延長に取り組んでいます。「十勝和牛哺育育成管理マニュアル」を作成・普及し、発育に優れた和牛素牛生産の拡大と地域ブランド「十勝和牛」定着のための高品質和牛肉の安定生産に取り組んでいます。

また、農用馬生産頭数の維持・拡大のため、優良種雄馬の配置や生産率向上などの振興対策を推進しています。

生乳生産量と経産牛1頭当たり乳量の推移(平成10年度～平成25年度)



十勝和牛

マニュアル管理され、発育に優れた素牛は、「十勝和牛マニュアル認定牛」として市場取引されています。



## ■家畜改良増殖の取り組み

十勝乳牛・和牛の改良目標を定め、生産能力に優れた管内飼養牛の受精卵を生産・流通する体制構築に取り組んでいます。また、会員生産者の改良意識向上のため、十勝総合畜産共進会を開催しています。



十勝総合畜産共進会審査風景



生乳分析



化成工場  
(第1工場)



化成工場(第2工場)

## ■良質生乳生産および乳房炎防除対策の推進

高品質で安全な生乳を安定的に供給するため、搾乳現場から生乳輸送用タンクローリーに至る衛生管理対策を行っています。また、乳房炎感染による経済的損失を最小とするため、搾乳作業や機器・飼養管理などの現地改善対策を関係機関と連携して推進しています。

## ■化成事業の運営と推進

十勝管内畜産農家からの死亡家畜および屠畜場、食肉処理場からの骨、残渣などの不可食副産物を畜産有用資源として再利用できるよう衛生的かつ効率的な処理に努めています。また、十勝管内生産者および会員農協・関係獣医師に対する生産指導支援業務として、専門獣医師による死亡家畜の死因解剖調査を実施しています。

## ■預託事業の取り組み

経営規模の拡大や安定した酪農経営を支援するため、広大な放牧地と自給飼料生産基盤を有効活用し、乳牛の預託事業に取り組んでいます。健康な優良牛生産のために、飼養管理と良質自給粗飼料生産技術の向上に努めるとともに、万全な防疫体制を推進し、預託者に信頼される牧場経営に努めています。



湧洞牧場



## 【電算事業部】

### ■組合員の営農と生活を支援するシステムの開発と運用

「営農webてん蔵」による、気象・病害虫・技術対策などの営農情報や作業記録の提供をはじめ、組合員個別の経営情報や簿記・税務関連データ、土壌・飼料・生乳分析データなどの提供を行っています。

### ■十勝の安全・安心ブランド確立のためのシステム開発と運用

農畜産物生産履歴システムおよび十勝型GAPシステムの構築、さらには家畜個体識別情報をベースとした登録・検定・消流システムや生乳細菌事故防止のための乳温遠隔監視記録システムの運用を行っています。

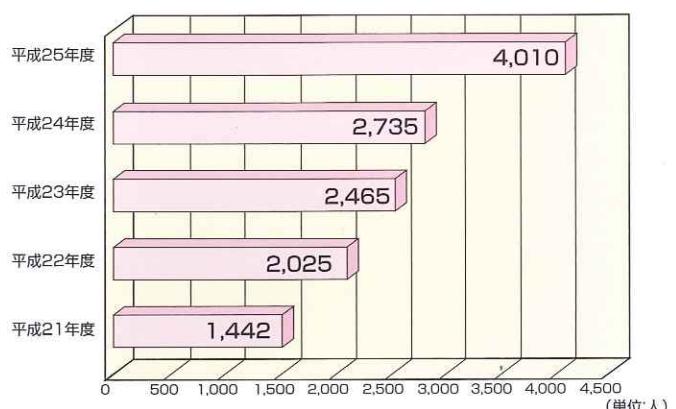
### ■農協の事業強化と業務効率化のためのシステム開発と運用

農協基幹業務システムの開発、運用サポートをはじめ、各種データの受け払い、メールシステムの構築、情報セキュリティの強化、ハードウェア・通信回線の整備と低コスト化、さらには情報利活用のための教育研修などを行っています。

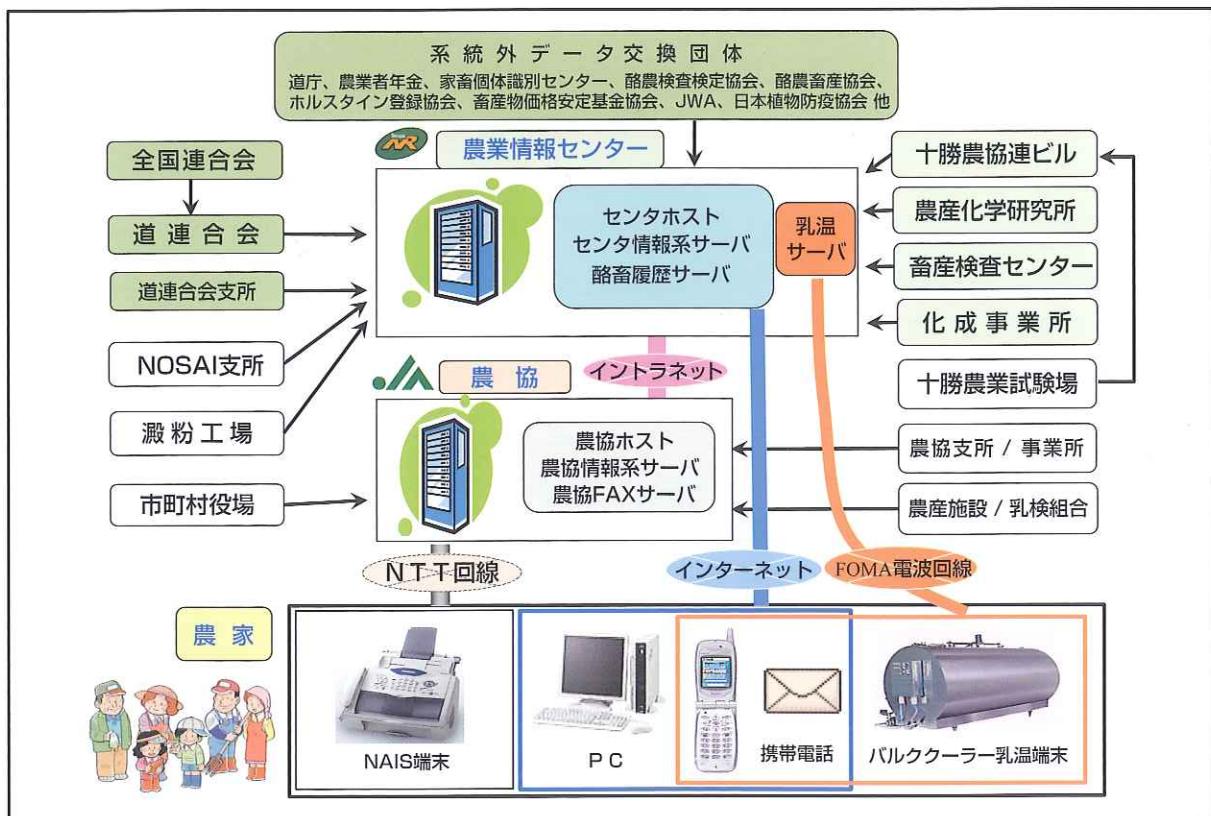


農業情報センター

「営農webてん蔵」登録者数の推移



## 十勝地域農業情報システム全体ネットワーク図



## 【企画室】

### ■十勝農業の発展に向けた企画業務の推進

十勝農業の5年後の将来像である「十勝農業ビジョン」の策定と推進を担当する部署として、農家戸数、農業所得、農協取扱高などの動態把握や、国内外の情勢分析と十勝農業の将来予測ならびに諸課題に関する調査研究に取り組んでいます。

### ■人材育成と地域農業支援システムの充実

農協役職員海外研修視察の企画や農業後継者などの海外農業実習への助成、若手農業者の養成、農協営農企画担当者のスキルアップ、農家経営分析ツールの普及などの業務を行っています。

また、コントラクター組織の連携によるサービスの向上と運営基盤の強化を図る一方、農家労働力の確保対策などに携わっています。

### ■十勝農業の情報発信とファンづくり

十勝産農畜産物の紹介やフォトコンテストなどによる十勝の魅力発信など、十勝農業のファンづくりに取り組んでいます。

### ■JAネットワーク十勝の事務局業務の推進

会員農協における財務基盤の強化と農協間協同事業の企画推進に取り組んでいます。

## 【総務部】

### ■業務執行体制の強化

会員農協・組合員の負託に応えた事業を展開していくために、職員教育の充実による資質向上とコンプライアンスの充実、組織の信頼性向上を基本に、活力ある組織づくりに取り組んでいます。

### ■財政基盤の確立

経営収支の安定と経営基盤強化のため自己資本の充実を図るとともに、資金の効率的な運用により財務基盤の確立に取り組んでいます。

### ■資産の運営管理と効率的運用

本会設立時に十勝馬匹組合などから継承した資産である帯広競馬場をはじめ、農協連ビルや家畜共進会場（アグリアリーナ）などの本会所有施設・資産の維持管理と効率的運用に努めています。



農協連ビル



帯広競馬場



家畜共進会場(アグリアリーナ)

## 【十勝農業ビジョン2016】

### 目標

#### 農業生産額 2,900億円

(農協が取り扱う農畜産物の組合員への販売支払高に、戸別所得補償制度などによる政策支援額を加えたもの。)

#### 基本姿勢

1. ブランド化と高付加価値化を図ると共に、十勝農業のファンづくりを進める。
2. 安全安心で高品質な農畜産物の安定供給に努め、産地としての信頼を高める。
3. 経営管理を高度化し、生産性の向上と低コスト生産に努め、農業所得の向上を図る。
4. 基幹産業として十勝の経済と生活を支え、豊かで潤いのある地域社会の発展を目指す。



### 【会員農業協同組合】

帯広市川西農業協同組合	音更町農業協同組合
帯広大正農業協同組合	士幌町農業協同組合
中札内村農業協同組合	上士幌町農業協同組合
更別村農業協同組合	札内農業協同組合
忠類農業協同組合	幕別町農業協同組合
大樹町農業協同組合	十勝池田町農業協同組合
広尾町農業協同組合	十勝高島農業協同組合
芽室町農業協同組合	豊頃町農業協同組合
十勝清水町農業協同組合	浦幌町農業協同組合
新得町農業協同組合	本別町農業協同組合
鹿追町農業協同組合	足寄町農業協同組合
木野農業協同組合	陸別町農業協同組合



**十勝農業協同組合連合会(農協連ビル)** ☎080-0013 帯広市西3条南7丁目14番地

企画室 ☎(0155)24-2133	農産課 ☎(0155)24-2134 FAX(0155)26-1639
管理課 ☎(0155)24-2130	☎(0155)24-2135 FAX(0155)21-2944
☎(0155)24-2132	酪農畜産課 ☎(0155)24-2536 FAX(0155)25-4680
施設課 ☎(0155)24-2169	☎(0155)24-2537

---

電算事業部 ☎080-0802 帯広市東2条南10丁目2番地 ☎(0155)21-3333 FAX(0155)21-3337  
 畜産検査センター ☎080-0024 帯広市西14条南6丁目1番地 ☎(0155)36-5601 FAX(0155)34-3266  
 農産化学研究所 ☎080-2464 帯広市西24条北1丁目1番地7 ☎(0155)37-4325 FAX(0155)37-4327  
 化成事業所 ☎089-1372 河西郡中札内村元札内東2線51番地 ☎(0155)69-4121 FAX(0155)69-4122  
 湧洞牧場 ☎089-1881 広尾郡大樹町字生花181番地1 ☎(01558)7-8139 FAX(01558)7-8150